

# 環境経営レポート



対象期間:2022年4月~2023年3月

発行日:2023年10月17日



## 目次

1. 会社概要
2. 対象範囲
3. エコアクション 21 組織図
4. 許可証、登録証一覧等
5. 環境経営方針
6. 環境経営目標
7. 環境経営目標の実績
8. 活動計画・取組結果と評価、今後の取組内容
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、  
訴訟等の有無
10. 代表者による全体評価と見直し・指示

## 1. 会社概要

### (1) 対象組織

① 事業所名

株式会社グローバー

② 代表者

代表取締役 平田 勝治

③ 環境管理責任者 森脇 勇記

TEL:048-954-7635 FAX:048-954-7636

e-mail:y\_moriwaki@global.co.jp

環境管理事務局

柴崎 彩香 TEL:03-3527-1020 FAX:03-3527-1021

e-mail:a\_shibasaki@global.co.jp

④ 所在地

本社 東京都千代田区神田東松下町 13 番地 神田プラザビル 2F

三郷事業所 埼玉県三郷市鷹野 2 丁目 408 番地 1

※2015 年 2 月 27 日より本社を東京都千代田区に移転した。

### (2) 主な事業内容

グリストラップ清掃事業、排水管清掃、給排気系統清掃

害虫駆除、産業廃棄物収集運搬業、水回り緊急対応作業

#### 事業規模

① 創業 2005 年 廃棄物収集運搬は 2005 年 3 月 28 日より開始

② 売上高 14 億 5361 万 (2021 年 4 月~2022 年 3 月)

③ 資本金 1000 万円

④ 従業員数 108 人

⑤ 述べ床面積 359.38 m<sup>2</sup> (本社)

142.02 m<sup>2</sup> (三郷事業所)

⑥ 収集運搬の実績等

・収集運搬の実績 2169t (2022 年 4 月~2023 年 3 月)

・収集運搬料金 種類、数量、排出場所や状況により異なります。

また、見積りは無料で御見積り致します。

## 2. 対象範囲

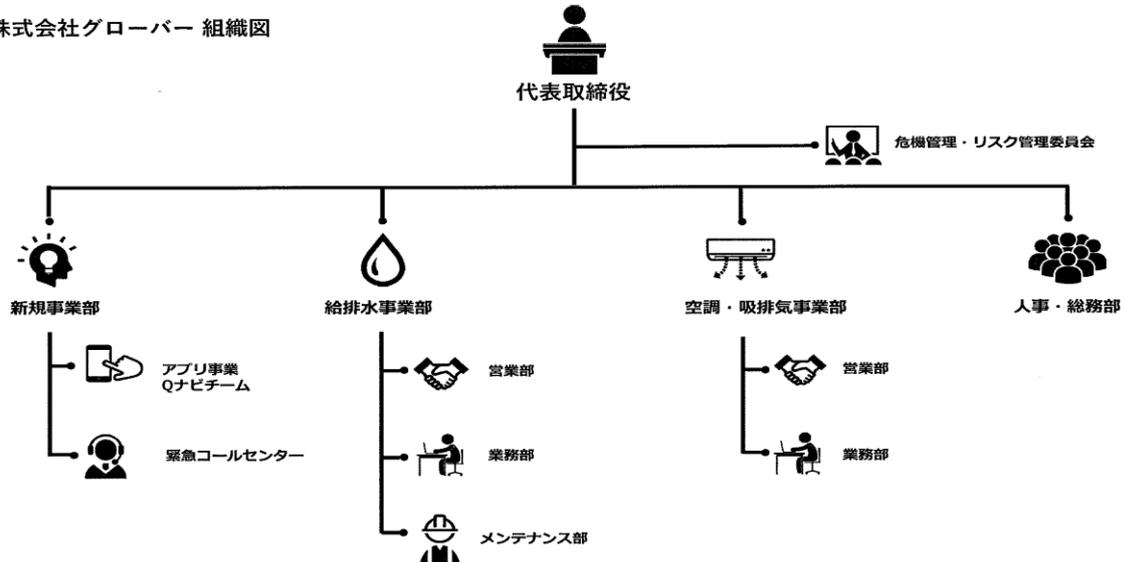
- ①全組織・全活動：株式会社グローバー
- ②対象事業所：本社：東京都千代田区神田東松下町 13 番地 神田プラザビル2階  
三郷事業所：埼玉県三郷市鷹野 2-408-1
- ③レポートの対象期間・発行日等
  - ・環境活動レポートの対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日
  - ・環境活動レポートの発行日：2023年10月17日

### 【作業工程】



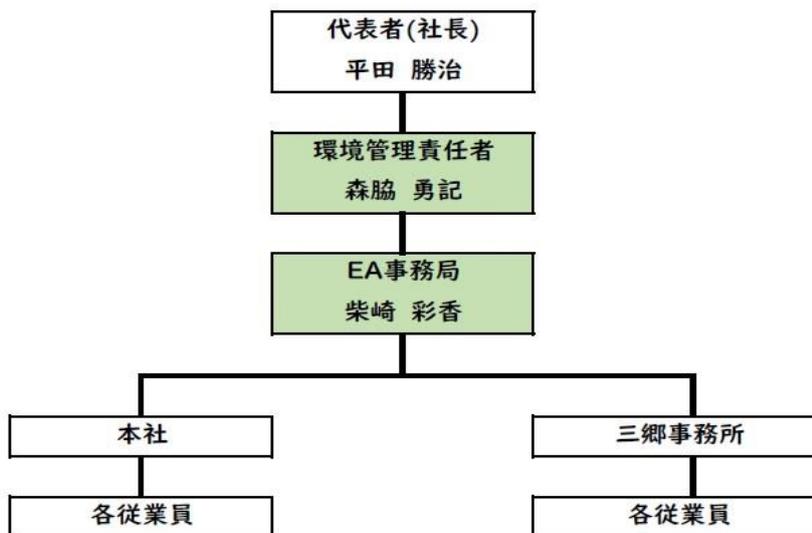
### 3. 会社組織図・エコアクション21組織図・役割等

株式会社グローバー 組織図



株式会社グローバー  
エコアクション21組織図

作成日 2020/10/6  
作成者 柴崎彩香



《役割、権限、責任》

代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統轄責任を担う。</li> <li>・環境経営システムに必要な資源の準備を行う。</li> <li>・経営上の課題とチャンスを確認にする。</li> <li>・環境方針の策定。</li> <li>・環境管理責任者の任命を行う。</li> <li>・全体の評価、見直しと継続的改善を行う。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施等への推進を行う。</li> <li>・環境目標、環境活動計画、環境経営システム関連文書を経営者の承認を得て作成する。</li> <li>・環境目標、環境活動計画の推進、進捗確認を行う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境目標、環境活動計画の推進、進捗確認を行う。</li> <li>・環境関連システム関連文書の保管、記録の収集管理を行う。</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開。</li> <li>・環境関連外部コミュニケーションの窓口等を行う。</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と取り組みの重要性を自覚する。</li> <li>・環境活動計画に定められた内容の実践行動を行う。</li> </ul>

## 4. 許可証、登録証一覧等

### (1) 産業廃棄物処理業の許可

許可種類	許可者	許可番号	許可年月日	有効期限	産業廃棄物の種類
産業 廃棄物 収集 運搬	東京都	第13-00-116904号	R2.3.22	R7.3.21	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維く ず、動物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガ ラス・コンクリート・陶磁器くず、鋳さい、 がれき類、ばいじん
	神奈川	01403116904	R2.4.7	R7.3.15	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	埼玉	01101116904	R2.4.24	R7.3.27	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	千葉	01200116904	R2.4.23	R7.3.31	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	栃木	00900116904	R2.4.7	R7.4.6	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	群馬	01000116904	R2.5.11	R7.5.10	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	茨城	00801116904	R2.7.21	R7.5.31	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ

(2)

・安全衛生推進者養成講習修了証

第 151118061 号

・安全運転管理者選任届出済証

第 L000142 号

・特別管理産業廃棄物処理業修了証

第 519001062 号

・甲種防火管理新規講習修了証

第 1207751 号

・東京都優良事業者認定証 産廃プロフェッショナル

4-19-D0091

・酸素欠乏危険作業主任者

### (3) 廃棄物収集運搬車両

車両一覧情報							
車種	ナンバー	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	総重量 (kg)	積載量 (kg)	装備
2t箱	春日部800す5811	545	193	207	6454	2500	VQ・手作業
2t箱	春日部800す6263	550	189	208	7075	2750	VQ・高圧
3tリール	春日部800す5628	544	205	234	7905	3600	VQ
3tリール	春日部800す6073	543	217	237	7955	3400	VQ
3tリール	春日部800す6503	547	207	237	7915	3700	VQ
2t箱ゲート	春日部400ち9397	462	169	196	4655	1750	高圧・ゲート
2t箱ゲート	春日部100せ1864	476	169	195	4235	1500	ゲート
2t箱	春日部400つ3760	466	169	196	3225	1500	
2t箱	春日部400つ7761	467	169	197	1750	1500	
2t箱	春日部400て1689	458	169	1985	3275	1150	
2t箱	春日部400き2618	468	169	198	3720	1500	
2t箱	春日部400て4886	469	168	199	3665	1500	
2t箱	春日部400て6924	469	169	195	3375	1500	
2t箱	春日部400て7988	468	169	199	3855	1500	
軽バン	春日部480き4673	339	147	187	1350	350	
キャラバン	春日部400て8665	469	169	199	3115	1250	
キャラバン	春日部400て8979	469	169	199	3275	1250	
キャラバン	春日部400と456	469	169	199	3125	1250	
キャラバン	春日部400と1382	469	169	199	2975	1000	
キャラバン	春日部400と2320	469	169	199	2975	1000	
軽バン	春日部480き925	339	147	187	1350	350	
キャラバン	春日部400と2799	469	169	199	2975	1000	

## 5. 環境経営方針

# 環境経営方針

わが社の経営理念『この国のあらゆる店舗のメンテナンスインフラになる』とし、社業を通してお取引先の三R活動に寄与してまいりました。これからもエコアクション21参加によりさらなる社員のレベルアップをはかり、循環型社会の形成に継続して努めてまいります。

- 一、 環境に関連する法規則・条例等と遵守し、環境配慮に努めます。
- 二、 環境負荷の低減になる車両の購入および資材、事務用品等のグリーン購入を推進することにより、環境に配慮した調達を進めます。
- 三、 エコドライブに努め、省エネルギーを推進します。
- 四、 廃棄物の削減・再利用活動に取り組めます。
- 五、 環境にやさしい商品およびサービスを販売します。
- 六、 環境方針を全社員に周知徹底し、全員で環境への取り組みを行います。

制定 平成 23 年 11 月 1 日

改定 令和 2 年 9 月 1 日

株式会社グローバル代表取締役 **平田勝浩**

## 6. 環境経営目標

### ◎環境経営目標：中長期目標（2022年～2026年）

#### ■合計■※2022年(基準年)

取り扱い項目	単位	2022年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	249,220.78	248,567.79	247,916.96	247,268.26	246,621.71
電気使用量	KWh	73,868.69	73,892.74	73,917.30	73,942.28	673,967.69
水使用量	m <sup>3</sup>	336.30	336.29	336.28	336.27	336.26
事務系一般廃棄物量	kg	48,769.00	48,622.69	48,476.82	48,331.39	48,186.40
化学物質使用量	本社・三郷事業所ともに使用していません。					

#### ■本社■

取り扱い項目	単位	2022年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	18,935.64	18,973.51	19,011.46	19,049.48	19,087.58
電気使用量	KWh	49,150.69	49,248.89	49,347.39	49,446.08	49,544.97
水使用量	m <sup>3</sup>	199.30	199.70	200.10	200.50	200.90
コピー用紙使用量	kg	5,913.35	5,750.00	5,500.00	5,250.00	5,000.00

#### ■三郷■

取り扱い項目	単位	2022年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	230,285.14	229,594.28	228,905.50	228,218.78	227,534.13
電気使用量	KWh	24,718.00	24,643.85	24,569.91	24,496.20	24,422.72
ガス使用量	kg	7.50	7.48	7.46	7.43	7.41
ガソリン使用量	L	37,217.34	37,105.69	36,994.37	36,883.39	36,772.74
軽油使用量	L	52,184.70	52,028.15	51,872.06	51,716.45	51,561.30
事業系一般廃棄物量	kg	48,769.00	48,622.69	48,476.82	48,331.39	48,186.40
水使用量	m <sup>3</sup>	137.00	136.59	136.18	135.77	135.36

■環境サービス■【汚泥の再利用の検討】汚泥の燃料化に関しては、他社（TBM）と提携し汚泥の燃料化を継続し検討する。

【環境情報の発信】当社ホームページでの環境情報の発信

\*化学物質は使用がないので引続き把握管理する。

## 7. 環境経営目標の実績（2022年4月～2023年3月の目標と実績の比較）

### ■ 合計 ■

取組項目	単位	目標	実績	達成状況
二酸化炭素排出量	kg-CO2	338,189.33	249,220.78	○
電気使用量	KWh	66,300.00	73,868.69	×
水使用量	m <sup>3</sup>	359.60	336.30	○
事業系一般廃棄物量	kg	9,150.00	51,315.00	×
化学物質の使用量	本社・三郷事業所ともに使用していません。			

### ■ 本社 ■

取組項目	単位	目標	実績	達成状況
二酸化炭素排出量	kg-CO2	125,740.50	18,935.64	○
電気使用量	KWh	45,446.00	49,150.69	×
水使用量	m <sup>3</sup>	200.00	199.30	○
コピー用紙使用量	Kg	5,913.00	6,250.00	×

### ■ 三郷 ■

取組項目	単位	目標	実績	達成状況
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	212,448.83	230,285.14	×
電気使用量	KWh	20,854.00	24,718.00	×
ガス使用量	m <sup>3</sup>	10.07	7.50	○
ガソリン使用量	L	12,369.00	37,217.30	×
軽油使用量	L	32,986.00	52,184.70	×
事業系一般廃棄物量	kg	9,150.00	48,769.00	×
水使用量	m <sup>3</sup>	159.60	137.00	○

※目標達成状況:○目標達成 ×目標未達成

※CO2 排出係数は 2022 年度東京電力エナジーパートナー(株)の 0.376kg-CO2 の排出係数を利用した。

## 8. 環境経営計画・取組結果と評価、今後の取組内容

環境活動計画	取組結果と評価	今後の取組内容
<p>二酸化炭素排出量削減 338,189.33kg-CO<sub>2</sub>が目標。</p> <p>【目標達成手段】(電力) ・空調温度管理徹底 ・未使用機器の電源オフの徹底 ・冷暖房の使用台数の規制</p> <p>【目標達成手段】(燃料) ・エコドライブの徹底 ・効率のいいルート作成 ・アイドリングストップ徹底</p>	<p>【全体】 会社全体の二酸化炭素排出量は目標値に対して514%増加した。</p> <p>【電力】 夏よりも冬場の使用量が多かったので、適切な温度で使用するように周知する。</p> <p>【燃料】 案件が増加傾向であり、車の台数も増加しているので全体的に使用量が上がっている。</p>	<p>(本社・三郷) ・室温点検チェック表の記入・実践を周知・励行する。 ブラインドなどを活用し、エアコンの温度を高め設定する。 ・使用していない部屋のエアコン・暖房はこまめに消す。</p> <p>・効率の良い作業ルートを再構築していく。 ・空調温度を徹底</p>
<p>廃棄物排出量削減 9,150Kgが目標。</p> <p>【目標達成手段】 ・分別の徹底 ・ファイルの電子化、印刷物の削除 ・社内文書の裏紙使用の徹底</p>	<p>三郷事務所の廃棄物排出量は増加傾向であるが53.2%削減した。</p> <p>案件数が増え、消耗品の廃棄物が増えた。裏紙も以前はリサイクル回収をしていたが、近場になくなってしまったので大量にシュレッダーをかけることになりその分廃棄物量が増えた。</p>	<p>・目標達成手段は継続</p> <p>・作業消耗品の見直しを実施する。 ・裏紙を使用することでコピー用紙の節約。</p>
<p>総排水量の削減 359.6m<sup>3</sup>が目標。</p> <p>【目標達成手段】 ・洗車用の水道に節水コマの取付 ・テプラによる節水意識の周知徹底</p>	<p>会社全体の総排水量は目標値に対し3.5%減となった。</p>	<p>(本社・三郷) ・継続して実施する。</p>
<p>グリーンマーク、エコマーク表示製品の購入推進</p>	<p>積極的にグリーンマーク、エコマーク表示商品を購入した。</p>	<p>継続して実施する。</p>

(環境サービス) 汚泥のリサイクル化 汚泥の再利用の検討 ホームページでの環境情報の 発信	・汚泥の燃料化に関しては、公共機関ではなく、他社（TBM）と提携して汚泥の燃料の精製をした（三郷） ・ホームページでの環境情報の発信（本社）	・継続し実施する。
その他	特になし。	

※担当者 本社:柴崎 三郷:森脇

※期日は2023年3月目標

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

【適用される法令等】[三郷事業所]

法律・条例名	規制内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の収集運搬	許可取得、適正処理
三郷市廃棄物の処理及び再利用並びに資源物持ち去り防止に関する条例	事業系一般廃棄物の処理	適正処理
浄化槽法	浄化槽の定期点検	定期点検の実施
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	第1種特定製品の管理 フロン漏洩時の報告	業務用エアコンの簡易点検の実施

【遵守状況等】

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘または環境に関する苦情は、過去3年以上ありません。

## 10. 代表者よる全体評価と見直し・指示

### 【環境経営方針について】

変更なしで継続

### 【環境経営目標及び環境経営計画については】

三郷事務所は現在も作業件数が増大しているが、水使用量において継続して目標を達成したことは特にメンテ職が洗車において節水の意識が根付いてきたと認識している。

神田オフィスは特に電気使用量が目標値との乖離が大きい。

オフィスカジュアルを推進し始めており、夏はTシャツなど薄手で、冬は厚手の服着用で過ごすことで室内の空調温度管理の徹底がしやすくなるのでは期待していたのだが、目標達成できなかった。

今年(2023年4月スタート)はさらにカジュアル率が高まっているので経過を見つつ期待したい。

コピー用紙使用料については顧客情報管理の厳格化を考慮すると、今後はむしろ電子化(ペーパーレス)を進めていく方向を検討していきたい。

事業系一般廃棄物の目標については実績と乖離が大きく目標の変更を検討したい。

環境経営を実施していることは弊社の事業のブランディングにもかかわってくることであり、従業員が意識できるよう教育指導を徹底していきたい。

変更無しで継続

### 【実地体制】

変更無しで継続